

教科の授業でNIEを進める上で、一番難しいのが算数・数学だと思われがちですが、本当にそうでしょうか。計算は読み書きと並んで生活する上で必要欠くべからざるものです。数字、数値、重さ、体積、時間等の単位、割合などを抜きにしたら、新聞記事はなりたちません。生活と結びついているのが算数・数学なのですが、実際の授業の中では、それをあまり感じさせていないように思います。

3年—大きな数、4年—概数（おおよその数）、5年—分数、小数、割合、6年—量の単位、速さの表し方などではぜひ新聞を活用してほしいです。

・ある紙面から大きな数を探してみよう。漢数字で書かれているものもよいです。10月18日の朝日新聞朝刊2面には〈9兆円事業 リニア始動〉という大きな見出しが目に付きました。以下新聞はすべて朝日新聞の朝刊（東京本社発行の最終版）からです。

・見出しから、概数、分数、割合（%、割）などを探そう。見出しに約、ほぼ、程度などの言葉が見つかる場合は、概数です。10月23日の33面に〈富岡製糸場入場1000円程度に倍増〉がありました。

・紙面からいろいろな単位を見つけよう。リットル、メートル、キロ（メートル、速さ・時速）、キロ（メートル・長さ）など。

・第3社会面には、前日の各地の最高気温・最低気温、湿度、天気が書かれた表が毎日載っていますが、気温と湿度の単位は何でしょうか。

・男子のマラソンの世界記録を持っているのは、ケニアのデニス・キメット選手で2時間02分57秒です（2014年9月28日ベルリンマラソンで記録）。これは時速何キロでしょう。また、100メートルを何秒で走ったことになるでしょう。小学生では2.05時間で4万2195メートルを走ったことで計算させます。時速約20.6キロ。2時間02分57秒は、7377秒。4万2195メートルを7377秒で割ると5.72メートル/秒で、100メートルを5.72メートル/秒で割ると約17.5秒とでます。

ある中学校の全校生徒422人が、100メートルずつリレーをしてもおそらく勝てないでしょう。50メートルずつ844人がリレーすればいい勝負になるでしょう。

（鈴木伸男・全国新聞教育研究協議会顧問）